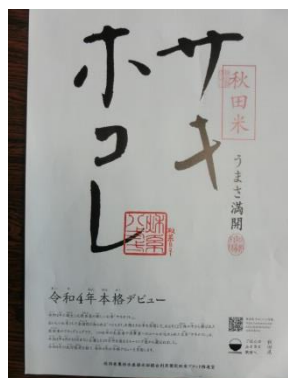


倉庫の冷却設備を新しい機械に入れ替えました！



11月、冷凍・冷蔵食品を保管する倉庫の冷却設備の機械を新しく入れ替えました。これにより、より安全安心な物資の管理が可能となりました。冷凍庫内は常時マイナス25℃、冷蔵庫内は8℃で温度管理されており、長期間の保存・保管ができます。改修費用には約2千万円かかりましたが、今後10年間かけて計画的に返済していく予定です。

「サキホコレ」学校給食提供事業が実施される



秋田米新品種「サキホコレ」を学校給食で食べてもらおうと、11月22日、24日、25日、26日、29日の5日間、県内の小・中・義務教育・特別支援学校、定時制高校（計309校）の学校給食で児童・生徒に提供されました。事業の目的は、サキホコレの認知度向上、サキホコレに対する理解促進や愛着醸成、秋田米への興味関心の向上です。11月は「まるごと秋田を食べよう給食」の期間でもあり、食事を通して子どもたちにふるさと秋田の食の豊かさを体験させるとともに、郷土愛をはぐくむことをねらいとして実施されました。お米の生産者のみなさんは、サキホコレについて、「粒が大きく、つやがあり、ふっくらとした食感、かむほどに広がる甘みとうまみの特徴です。」と、おいしいお米なのでみなさんにもたくさん食べてもらいたいと話しております。学校給食でも、子どもたちの評判はよく、好評だったようです。

令和3年度学校給食功労者表彰 菊地和子さんが受賞

文部科学省の令和3年度学校給食優良学校等の表彰があり、学校給食功労者として、本県から前秋田市立桜小学校栄養教諭の菊地和子さんが選ばれました。

菊地さんは、秋田市教育委員会の指導主事として長年、秋田市の小中学校の給食指導や食育指導に尽力され、学校現場の栄養教諭としてもご活躍をされました。また、中体連の県中総体の総合プログラムの中で「スポーツと栄養」について触れられ、スポーツ選手の食事の在り方についても、その重要性を伝えてくれました。

この度の功労者表彰の受賞、誠におめでとうございます。